



# 小雀公園 里山通信



## Vol.32 生きものが生息する場所



夏の間は草が茂って見通しを遮っていたエリアも、秋になり広範囲の草刈を行ったため、公園が広く感じるようになりました。スギ林やため池周り、ヨシ原の草刈が終わると、草刈に追われていた日々はひと段落ついたなと感じて毎年ホッとします。草が伸びない時期は、花もほとんど咲かないのでさみしいけれど、管理は楽になるので助かります。

ところで、いつもスッキリ見通しの良い公園であってほしいと思っている方は結構多いかもしれません。



**草が茂る水辺には  
イトトンボが生息しています**



**草むらではバッタやイナゴが  
元気に跳びはねています**

でも都会の公園のようにス

ッキリきれいな公園では、小雀公園の売りである、自然いっぱい！生きものいっぱい！な公園にはできなくなってしまう。草刈りを減らせばそれだけ植物が育つので野草の花が楽しめますし、草地をすみかや餌場にする生きものが増えてきます。短く刈り揃えられた芝地でも、少数の生きものは生息していますが、背の高い草地、明るい草地、ツルが茂る草地など、様々な環境をそろえることでより多くの種類の生き

ものが見られ

るようになります。また、小さな昆虫だけではなく、鳥なども草陰に潜むことで安心して過ごせる場所と認識してくれば、長期的に居ついてくれるようになります。

公園は人間が使うために作られた場所ではありませんが、街中でも生きものが生息できる環境を維持するために自然を保護する場所でもあります。多少の不便はあるかと思いますが、小雀公園は生きものを身近に感じられる公園を目標に管理作業を行っていますので、どうぞこれからも暖かい目で見守ってくださいね。



**刈り残したため池の草陰で  
お昼寝中のカルガモ**



**小雀公園 ☎045-853-1945**  
<https://midocomi.com/kosuzumepark.html>  
 横浜市指定管理者 緑とコミュニティーグループ

